

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121131045	ファッション造形実習Ⅱ Clothing Construction Practice Ⅱ	平岩 暁子			2	選択	3前期

科目の概要

ファッション造形学、ファッション造形実習Ⅰで学んだ知識と技術を発展させ、総裏仕立てのジャケットの製作をする。各自サイズの身頃原型を使用し、ジャケットへのデザイン展開の方法を学び、作図していく。作品に合った生地を選択方法、取り扱いについて理解する。縫製では、先に仮縫い試着を行い、補正の方法も学ぶ。裏地の意味、付け方を学びながら、被服造形に関する応用的な技術の習得を目指す。本科目はディプロマポリシーDP4にある「人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる」ようになるための科目として位置付けている。担当教員は公立の高校講師を務め、実習を含む家庭科教育の経験がある。被服製作の実習で培った経験を活かし授業を行う。

学修内容	到達目標
① 身頃原型からデザイン展開の方法を知る。 ② 試着補正の方法を知る。 ③ 生地の特性に合った接着芯の選択、しるし付けの方法を知る。 ④ 裏付きジャケットの製作に必要な技法を身につける。 （ミシン縫い、手縫い）	① 身頃原型からデザイン展開し提案できる。 ② それぞれの体に合わせた試着補正の方法を説明し、補正ができる。 ③ 生地合った接着芯、しるし付けの方法を説明し、選択できる。 ④ 裏付きジャケットの製作に必要な技法を理解し、縫うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	実習課題を製作するのに必要な知識・技術について、配布プリントを読み、自分で練習して、学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	製作に関する技術の習得に向けて努力し、目標のレベルまで到達できる。
考え抜く力	課題発見力	プリントを読み、その内容を理解して、ジャケット製作に関する課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	洋裁の知識や技術を身につけるため、自分なりの方法を考え、実行している。
チームで働く力	発信力	実習記録では、整理した内容を的確な文章で表現できる。
	傾聴力	作業内容の説明をよく聞き、実習に取り組むことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

プリントを適宜配布、classroomに資料提示する。
 参考図書：『文化ファッション大系 服飾造形講座』、文化服装学院編、文化出版局、（2009）

他科目との関連、資格との関連

「ファッション造形実習Ⅱ」は、専門分野の空間・情報デザイン科目群の衣分野の科目の一部であり、「ファッション造形実習Ⅰ」「ファッション造形学」で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「スタジオA」「ファッショントレンド」の基盤となる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
ジャケット製作に関する知識・技術を、実習を通して学習する。細かい作業が多いが、根気よく丁寧に取り組むこと。	実習科目であるので、予定進度まで進まなかった場合は、授業時間外でも実習を行い、進度まで進めること。時間内に習った技術を復習しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	20	①	✓			実習のまとめ・記録用紙の提出 獲得…30% 毎時の説明を簡潔に記録できている 活用…30% 説明を理解して作業が行えたことが記録されている。 解決…40% 作業の中でさまざまな気づきを得られて次の作業に活かされたことが記録されている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓			身頃原型からデザイン展開の方法を理解できているか。 洋裁に関する基礎的技術を使って、きれいに製作できているか。 丁寧に作業ができているか。 獲得…30% 説明を聞いて基礎的な知識と技術が理解できている。 活用…30% 基礎的な知識と技術を繰り返し行う中で応用し、よりよい方法に気づき、うまくできなかったところは修正できている。 解決…40% 説明に沿った基礎的知識・技術を用いてジャケットが完成できている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 （実行力）・目標のレベルまで到達しようという努力の姿勢を評価する。 （課題発見力）・和裁に関する課題を発見できているか、実習記録で確認する （創造力）・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 （発信力）・プレゼンテーションや実習記録で確認する。 （傾聴力）・授業態度やプレゼンテーションの聴講態度などで確認する。 （規律性）・受講態度（遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど）は減点する	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
作品のパターン、縫製技術ともに優れている、積極的に実習に取り組んでいる。 左右対称に出来上がっている、袖付けでしわが入っていない、見返しが控えられている、表地と裏地がバランスよく釣り合っている、手縫いが丁寧である。※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S（秀）評価をする。	作品のパターン・縫製技術の基本は身につけているが、完成時の見栄えには少し問題点がある。 つまり、左右均等でない部分がある、袖付けでしわがある、見返しが飛び出している部分がある、表地と裏地のバランスが悪い、手縫いが荒い、などの場合は減点する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ジャケットの種類、デザイン。裏地の意味、付け方について。 採寸をし、自分のバスト（チェスト）サイズより身頃原型を選択する。	講義 実習（採寸、原型選択）	ジャケットの種類、裏地の付け方について分かる。 ジャケットデザイン画を描く 実習記録を書き提出する	（予習）ファッション造形Ⅰの内容を復習しておく。 （復習）ジャケットのデザインを考え、デザイン画を提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	デザイン決定し、原型から各自のデザインでパターン展開し作図する（身頃）	課題の解説 講義 classroomにて資料提示 実習（身頃のパターン作図）	身頃のパターンを作図して提出する。 実習記録を書き提出する	（予習）考えたデザインの参考にできるパターンを雑誌から探してくる。 （復習）身頃のパターンを完成させて提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	袖のパターンを作図する。 アームホールと袖山線の寸法確認を行う。	課題の解説 講義 実習（袖のパターン作図）	袖のパターンを作図して提出する。 実習記録を書き提出する。	（予習）ファッション造形実習Ⅰのプリントから袖の製図方法を確認してくる。 （復習）袖のパターンを完成させて提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	型紙の完成	課題の解説 講義 実習（パターン作図・完成）	型紙を完成させ提出できる 実習記録を書き提出する。	（予習）パターン作図を進めてくる （復習）型紙を完成させ提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	仮縫い組み立て 試着補正を行う	課題の解説 講義 実習（しるし付け、仮縫い組み立て、試着補正）	仮縫い組み立て、試着補正の方法が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）しるし付けの方法を予習してくる。 生地によって方法が異なる。 （復習）仮縫い組み立て、試着補正を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	試着補正を行う。 パターンの修正、見返し作成。 布地の説明、必要用尺の計算方法	課題の解説 講義 実習（試着補正、パターンの修正）	試着補正の方法、パターンの修正方法が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）仮縫い組み立て、試着補正を進める。 （復習）補正箇所と補正方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	表地・裏地の裁断をする しるし付け 接着芯を貼る	課題の解説 講義 実習（裁断・しるし付け）	裁断（裏地の縫い代の付け方が分かる） 実習記録をつける	（予習）仮縫い補正、パターン修正を終わらせておく。 ジャケットに適切な布地を必要尺（表地・裏地）準備してくる。 （復習）表地、裏地の工程を終了させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	縫製 袖づくり（表・裏地とも）、袖口まつり、中とじ、ななめじつけをする。 袖山のぐし縫いについて	課題の解説 講義 実習（本縫い、手まつり）	裏地にきせをかける意味と方法が分かる。中とじの方法が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）ミシンの操作方法、まつりを予習しておく。 デジタル教材「基礎縫い」 https://www.mukogawa-u.ac.jp/~kankyo/laboratory/edu/d_kyozai/kisonui/kisonui.html （復習）袖の作り方をまとめる。もう片方の袖も作っておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	縫製 前・後身頃作り（ダーツや切替線を縫い合わせる。表・裏地とも）	課題の解説 講義 実習（本縫い）	表地と裏地の縫い代の始末の違いが分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）袖作りを進めておく。 （復習）身頃作りの工程を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	縫製 肩線を縫合する（表地、見返し、裏地それぞれ） 裏地と見返しを縫い合わせる	課題の解説 講義 実習（本縫い）	強いカーブは合印を入れ丁寧に縫い合わせる。 実習記録を書き提出する。	（予習）身頃、両側の袖を完成させておく。 （復習）今週まで工程を終了させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	前端～衿ぐりの始末をする（見頃表と見返しを差をつけて合わせ縫い、表に返す） ななめじつけをする 脇縫いをして中とじする。 裾のまつり	課題の解説 講義 実習（本縫い、手まつり）	表地と裏地に差をつけて縫い合わせる意味が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）表地と裏地に差をつけて縫う意味について調べる。 （復習）今週まで工程を終了させておく。袖山にぐし縫いをしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	袖付け 身頃に表袖を付ける。 袖山をいせる。待ち針を打ってからしつけをかける。 ミシンで縫う。	課題の解説 講義 実習（本縫い）	袖付けの方法が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）ファッション造形実習Ⅰの資料より袖付けの方法を確認しておく （復習）袖付け（もう片側）の工程を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	裏地の始末 裏地を表見頃にバランスよくとめる。 袖付け線の裏地はバランスを見ながら待ち針を打ち、手まつりする。	課題の解説 講義 実習（手まつり）	裏地の始末の方法が分かる。 実習記録を書き提出する。	（予習）両袖がバランスよく縫えている （復習）裏地の始末を進める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	裏地の手まつり 星どめ、千鳥がけ	オンデマンド（Google classroom）	見頃の裏地がバランスよくまつられている。	（予習）裏地の始末を進める （復習）裏地の始末を進める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ボタンホールを印付ける（ボタンホールは外注） ジャケットでのボタン付けの説明（力ボタン） 仕上げ	課題の解説 講義 実習	ボタンとボタンホールの長さの関係が分かる。力ボタンの意味、付け方が分かる。 作品の自己評価を行い、考察する。	（予習）裏地の始末を進めてくる （復習）仕上げて期日までに提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力